

春夏秋冬



武蔵野会ニュース No.191 令和6年1月15日

発行 社会福祉法人武蔵野会

本部 東京都八王子市旭町12-4.201 TEL042(631)6341

<https://musashinokai.jp/>

新年のごあいさつ



「葛飾区内障害者施設区役所合同販売会で『かりんと饅頭』の販売」
きね川福祉作業所

トピック

旧優生保護法をめぐる裁判に関する
最高裁の統一判断に注目したい

新年早々、能登半島を中心とした大地震や飛行機事故がありました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。被災された多くの皆様にお見舞い申し上げます。親せきや家族で集まりお祝いしていた最中の被災だったことを思うと言葉になりません。法人では義援金だけでなく、できる限りの支援に携わっていきたいと思っております。

昨年、旧優生保護法により強制的に不妊手術をされた人たちが国に賠償を求めた訴訟のうち上告された5件について最高裁が15人の裁判官全員による大法廷で審理し、統一判断が出される見通しとなりました。同法は、「急激な人口増加を抑制すること」「不良な子孫の出産の防止」を主な目的に1948年に制定され、母体保護法に改正された1996年まで続きました。2018年に宮城県の女性が仙台地裁に初めて訴訟を起こし、これまでに全国で38人が訴訟を起こし、勝訴8件、敗訴9件の判決が出ています。判決の多くは、旧優生保護法を憲法違反としたものの、すでに20年以上がたち、賠償を求める権利がないという「除斥期間」により訴えを退けてきました。昨年、大阪高裁が「除斥期間」を適用せず、国に賠償を命じる判決を出すと、東京、札幌、大阪（前述と別件）が同様の判決を出しました。しかし、最初の仙台の裁判は「除斥期間」を理由に訴訟を退けました。最高裁の審理で「除斥期間」を旧優生保護法には適用しないという統一判断が期待されています。

かつて世界に優生学が広がり、日本はドイツの法律を参考に旧優生保護法を制定したと言われています。ナチスドイツがユダヤ人を虐殺したこと、それ以前に多くの障害者を虐待した事実は優性思想の恐ろしさを示していますが、日本で48年間も同法が続いていたこと、5年前の訴訟がなければ、また訴訟があっても意識しなければ、優性思想の怖さに気づかなかったということだとも思います。

今「優生保護法問題の全面解決を目指す全国連絡会」は、最高裁の統一判断が、同法による被害者の尊厳を回復することに繋がるよう、最高裁判所あてに署名活動を行っています。年頭にあたり、このような事実を知って考え続けること、行動することが、自身の優性思想に抗う術だと思っています。

社会福祉法人武蔵野会 理事長 高橋 信夫

新年の挨拶

後援会会長・評議員

石谷 暢司

理事長 高橋 信夫



明けまして
おめでとうご
ざいます。

旧年中は、

当法人の運営にご尽力、ご協力いただきありがとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。今年、福祉は全国で、喫緊でありながら継続している人材不足が大きな課題となっております。昨年から「福祉に関する人口を増やし、これからの福祉を作る」を目的とした「SOCIAL WORKERS LAB」(一般社団法人ほくみん)と契約し、「採用」を「仲間さがし」と言い換え、採用パンフレットを大きく刷新し、面接方法を見直し、母集団の裾野を広げるための「ふくしデザインゼミ」を並行して行っています。当法人の採用担当職員の頑張りで、はつきりとした結果に繋がっています。まだまだ厳しい状況ではありますが、皆さんのご協力をお願いいたします。



新年あけましておめでとうございます。
会員と協力

者の皆様には清々しい新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。日頃、心温まるご支援を賜り深く感謝申し上げます。世界各地の紛争が日本経済に多大な影響を与え、生活必需品や電気・ガス料金などの高騰が生活に厳しい日々ですが、昨年12月に法人武蔵野会へ第1回の寄付金を届けました。これも偏に会員の皆様の熱意あるご協力の賜物と存じ厚くお礼申し上げます。これらの支援が法人武蔵野会職員の採用活動に寄与されています。何卒、本年もご協力を賜りますようお願い申し上げます。尚、正月の能登半島地震に甚大な被害を受けられた方々によりお見舞い申し上げます。多事多難の年明けですが、ご健勝に平穏な年になりますようお願い申し上げます。

法人役員挨拶 (順不同)

【理事】



青木 秀雄
(明星大学名誉教授)
明けまして
おめでとうご

ざいます！ 本年も皆様と力を合わせて事業改善を図り、福祉法人が抱える人材不足等様々な課題を克服し、益々発展しますようよろしくお願ひします。



今坂 康志
(医師)
明けまして
おめでとうご

ざいます。今年も利用者の皆さんの健康のため、微力を尽くしてまいります。休日は山歩きを楽しんでいます。昨年は北岳・赤岳・水晶岳に登りました。



上野 純宏
(前理事長)
日本人が古くから持つ

ている和の精神と、すべての人の尊厳を護る福祉の理念。これらが大



山田 貴美
(法人本部長)



宮原 康輔
(練馬福祉園
施設長)



松岡 利明
(第2大島恵の園
施設長)



富山 孝行
(西水元あやめ園
施設長)



岡部 智彦
(駒沢生活実習所
施設長)

【監事】



松田 京子
(元東京都社会福祉
協議会福祉部長)
武蔵野会が

地域共生社会の実現に向けて、それぞれの地域に根差し、ニーズを汲み上げ、一人ひとりを大切に取組まれることを願ひ、ともに取組んでいきたいと存じます。



谷口 健吉
(税理士)
明けまして
おめでとうご

ざいます。健全な事業運営を継続できるような側面からサポートさせていただきます。本年もよろしくお願ひいたします。

【評議員】



横田 千代子
(全国婦人保護施設等
連絡協議会会長・
婦人保護施設
いずみ寮施設長)



井上 明子
(弁護士)



久保 健一郎
(東京慈恵会医科
大学教授)



小林 隆猛
(東京都民生委員
児童委員連合会
常任協議員)



西野 榮男
(元八王子市
社会福祉協議会
常務理事)



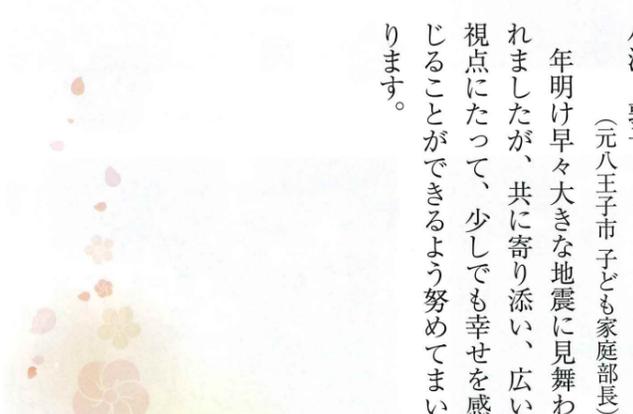
原田 正樹
(日本福祉大学
学長)

切に、福祉施設の活動を世界平和と地球環境保全にもつなげましょう。良い年末年始をお過ごしください。明年もよろしくお願ひいたします。

社会や福祉の環境が目まぐるしく変化する中、武蔵野会の活動がさらに素晴らしいものになるよう微力ながら努力し続けたいと思ひます。



鳥田 浩平
(社会福祉法人
東京都社会福祉
協議会副会長)



リニューアルラウンジ

不登校・ひきこもりへの支援を皆で検討

令和5年度オンラインセミナー開催 葛飾地区

令和5年10月21日に武蔵野会セミナーをオンラインで開催いたしました。

今年度は「不登校・発達障害から引きこもりを考える」コロナ禍をふまえた地域における生きにくさの実相と支援について」をテーマに、基調講演では島田療育センターはちおうじの所長で医師でもある小沢浩氏より、不登校でひきこもりの子どもたちの特性や関わり方、また、その子どもたちの家族や関係者への支援や連携方法などについて、今までの経験をもとにご講演いただきました。

パネルトークでは、全世代にわたって地域社会における様々な「生きにくさ」に焦点を当て、不登校の当事者でもあるNPO法人全国不登校新聞社代表理事の石井しこう氏、不登校の子どもたちを自らが運営する農園で受け入れ活動を行っている相澤孝一氏（相澤農園代表）、行政の立場から

- 佐藤 正典(同)
- 服部千寿子(同)
- 岡里 純(すぎな愛育園)
- 地挽 春美(同)
- 橋本 瑞乃(同)
- 齊藤 登俊(練馬福祉園)
- 佐々木ななほ(同)
- 鈴木 雅臣(同)
- 田代 望豊(同)
- 田中志津香(同)
- 樋沼 亮(同)
- 村山 有紀(同)
- 原田奈津紀(同)
- 本田 康男(同)
- 大森 康央(大島恵の園)
- 澤田 恵美(同)
- 古山奈津美(同)
- 長島なつ海(同)
- 田島 恵(同)
- 佐藤 典子(第2大島恵の園)
- 五味沙耶香(同)
- 峯元 幸子(同)
- 渡辺 好巳(同)
- 岩井 美雪(西水元あやめ園)
- 上原 隼人(同)
- 佐藤 智子(同)
- 内村ミツ子(同)
- 小野 悦子(同)
- 水野枝里花(八王子生活実習所)
- 山岸いずみ(八王子生活実習所)
- 木下 理恵(八王子福祉作業所)
- 田中 章(烏山福祉作業所)
- 相澤 紀子(光ヶ丘障害者生活支援センターすてっぷ)

地域で困っている方を包括的に支えている高城千栄子氏（葛飾区くらしのまるごと相談課支援係長）から、自身が考える生きにくさ、支援のあり方、実体験などをもとに、パネルトークを展開していただきました。



左から高橋理事長、小澤氏、石井氏、相澤氏、高城氏、山田本部長

永年勤続者表彰

令和5年度の永年勤続者表彰が11月16日、京王プラザ八王子飛翔の間で開催されました。理事長から一人一人に表彰状と記念品が贈呈され、受賞者を代表し、さくら

- 山田まき子(大泉町福祉園)
- 石川ゆかり(同)
- 阿部 貴裕(小平福祉園)
- 上田 明寛(同)
- 坂井 俊介(同)
- 田島 香奈(同)
- 成澤 武(同)
- 松浦林太郎(同)
- 土肥 美帆(同)
- 阿部 紀子(同)
- 岸 由美子(光が丘福祉園)
- 若山 美里(同)
- 林 清子(リアン文京)
- 大塚 信也(ジョブ・サポート・プラザちよだ)

「ふくしデザインゼミ」グッドデザイン賞を受賞

昨年、当法人と「一般社団法人ほくみん」が協働して取り組んだ「ふくしデザインゼミ」の取り組みが、「2023年度グッドデザイン賞」を受賞しました。「ふくしデザインゼミ」は、分野や領域の垣根を越え、実践的に福祉を学ぶプログラムで、参加者（学生）は8か月間にわたって法人内の施設をまわり職員と話しながら「ふくし」に関わる人図鑑」を制作し、展示イベントの企画・運営に関わりました。活動開始時はまだ福祉に関わっていない「外側」にいた参加者が、取材を通して実際の福

学園の鈴木浩職員と武蔵野児童学園の私市宣子職員が謝辞を述べました。表彰を受けたのは次の職員（敬称略）です。

- 勤続50年 私市 宣子(武蔵野児童学園)
- 勤続40年 鈴木 浩(さくら学園)
- 児島 早苗(すぎな愛育園)
- 勤続30年 杉山 智子(さくら学園)
- 齋藤 光弘(希望の里)
- 金井 浩司(練馬福祉園)
- 大場 忠行(大泉町福祉園)
- 勤続20年 藤本 糧作(武蔵野児童学園)
- 小池 磨里(同)
- 石井 俊行(さくら学園)
- 中神 昌(希望の里)
- 保永 寿代(白鳥福祉館)
- 林 清乃(八王子生活実習所)
- 中川 穰(リアン文京)
- 近藤 七海(同)
- 海老澤 哲(さくら学園)
- 柏木 誠次(同)
- 齋藤 寛志(同)
- 小俣 滋希(大島恵の園)
- 久保浩二郎(同)
- 勤続10年 勝亦 薫(さくら学園)
- 北井 絵美(同)
- 関口 有三(同)
- 大沼 優子(同)
- 梶山 文子(同)
- 木之元理恵(同)

祉現場に触れながら、さらに外側にいる人たちに自分たちの学びを伝えようとすることで、いつの間にか福祉の「内側」に立ち、福祉事業がもつ本当の力や魅力を発見していききました。そして、ふくしが身近なものになっていく経験をしました。

この取り組みを、審査員からは「学生と福祉従事者が協働し、書籍の制作や展覧会を開催した取り組み。支援する／される、教える／学ぶという関係を越え、学び合える関係や場をデザインしている。その中心にあるのは、「福祉」を「ふくし（ふだんのくらしのしあわせ）」へとアップデートするという信念だ。「採用のあり方を変えたい」という出発点から始まったこの取り組みは、全てにおいて誰にもひらかれた場としての双方向性を意識した秀逸なデザインによって、採用する／されるから、「仲間さがし」へとアップデートされた」と評価コメントをいただきました。参加された関わったみなさまと共にこの受賞を喜びたいと思います。



完成した「ふくしに関わる人図鑑」



練馬福祉園

9月に仮設建物へ引っ越し、現在は旧舎を解体中です。頑丈なコンクリートも重機であつという間に壊していきます。長い間お世話になった建物で、とても名残惜しいですが、新しい本設への期待も膨らんでいきます。

白鳥福祉館

今年度は久しぶりに皆さん一日外出を楽しんでいます。大正11年に開園したあらかわ遊園。平成30年12月から一時閉園していましたが、令和4年4月にリニューアルオープンし、たくさんの方が出かけています。

第2大島恵の園

伊豆大島では「第69回伊豆大島椿まつり」が1月28日から3月末まで開催されます。久しぶりにオープンングセレモニー「江戸みこしとあんこパレード」に参加する予定です。様々なイベントがありますので今から楽しみます。

大島恵の園

「交流広場から海を眺めよう」ということで、うっそうと茂る篠竹の伐採に法人の職員ボランティアが来てくれました。利用者も参加し一緒に体を動かすよい経験となりました。ありがとうございました。

希望の里

希望の里がある上川町は、八王子市郊外にあり、他より気温も低く、路面凍結が早いです。怖いのは車のスリップ。スタッドレスタイヤへ早めの交換で、安全運転に努めています。

烏山福祉作業所

12月の土曜日、冬まつり・もちつき会を開催しました。ボランティアの中学生と利用者がお揃いの法被姿で一緒に餅をついている光景に元気をもらいました。寒空の下で「よいしょ」の掛け声と笑い声が響きました。

八王子福祉作業所

11月4日(土)、「ハチウエル・フェスタ」を4年ぶりに復活しました。コロナ禍中は、小規模開催でしたが、今年は地域に開放し、キッチンカーや他事業所の出店、演者さん呼び賑やかになりました。お腹いっぱい食べ、みんなで歌い踊り、利用者と地域の方の笑い声が響き渡る1日でした。来年はバザーも再開できるように目指します。

北町福祉作業所

昨年12月中旬に改修工事を終え、新しい作業所での活動が再開しました。利用者やご家族にはご迷惑をお掛けしましたが、新たな気持ちで職員一同頑張っていますので、よろしくお願いたします。

お知らせコーナー

- 1月**
 26日(金) 新年会・20歳を祝う会 (各事業所)
 総合防災訓練 (法人全体)
- 2月**
 6日(火) 世田谷区手をつなぐ親の会新年会 (世田谷地区)
 18日(日) 第36回心をつなげる福祉マラソン大会 (東社協知的発達障害部会・法人)
 23~24日 提携社会福祉法人サミット (理事長・本部長)
- 3月**
 21日(木) 新任職員辞令交付式
 23~25日 大島恵の園草刈り清掃

防犯表彰



ぽーとからすやま

昨年10月19日、成城警察署から地域防犯に関する感謝状を頂きました。ぽーとからすやまは、年齢や障害の有無に関わらず、地域住民の困りごと相談窓口として基本相談支援を実施しています。地域特性として精神科病院やクリニックが多いため、精神疾患当事者やご家族からの相談が8割以上となり、病状によっては近隣住民や店舗等に誤解を与える言動をする方もいるため、警察通報となるケースが少なくありません。通報後、生活安全課防犯係から情報提供を求められることもあります。電話での情報提供の他、ケースによっては本人の安心のために現場へ駆け付け、警察署員との協働や支援協力をすることもあります。また、訪問時、明らかに自宅に居るはずなのに応答が無い場合など、安否・生存確認

を含めて当所から警察に相談や支援要請をすることもあります。

日頃から顔の見える関係を保つことで、緊急対応等を円滑に進めることにつながっています。

クリスマスプレゼント

武蔵野児童学園

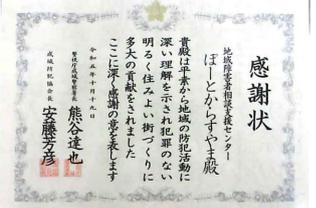
12月23日、今年は4年ぶりに地域の方々をお招きしてクリスマス会を開催しました。コロナ禍では事前に収録した映像をリモートで見ながら楽しみましたが、今年はホールに集まり、子どもたち、職員、来賓の前で練習した出し物を披露しました。緊張しながらもみんなで大笑いし、一緒に喜び合えることがこんなにも「楽しいんだ」と思えるクリスマス会でした。

児童養護施設のクリスマスでは沢山の頂き物があります。玩具はもちろん、お菓子やケーキ、食事の時のチキンやピザ、数えきれないほどのプレゼントです。それらは例年頂く顔見知りの方、突然の申し出で送って下さる方など様々です。子どもたちにはどんな方から頂いたか紹介をしますが、なかなかきちんとお礼も出来ませんが、いつも子どもたちは大喜びです。

写真は素敵なブーツに入ったクリスマスプレゼントをサントラ(お兄さん中高生)が小さい子どもたちにプレゼントしているところです。いつもありがとうございます。これから温かい眼差しで見守っていただけると嬉しいですね。



大活躍のお兄さんサントラ



成城警察署から頂いた感謝状



パルティールで至福のひと時をどうぞ

期間限定でお店に並ぶパルティール。今年もバレンタインデーに登場します。スポンジ生地を生クリームやリキュールなどを練り込んで、チョコレートでコーティングした卵型の可愛い生菓子です。お味は、いちご・ラム・ホワイトチョコの3種をご用意。他にも生チョコやトリュフなどを販売する予定です。是非ご賞味ください。

シューケース

自主生産品紹介

パルティール

八王子福祉作業所

新商品

☎042・6266・0631

年賀状とコインケース

リアン文京

☎03・5940・2822

新年の干支「辰」の年賀状とコインケースです。辰は十二支の中で最も縁起の良い干支と言われ、天高く登る龍のように運氣上昇や、あらゆる物事を良い方向へ導く力があるとされています。センター祭りや文京区の販売会でもとても好評でした。



「辰」の年賀状とコインケース

武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が経営する施設とグループホームの利用者のために、より良い環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを、物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により、会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していますので、ご協力をお願いします。

〒193-0931

東京都八王子市台町1-19-3
 電話・FAX 042-626-9772